

令和7年度事業の実績について

1 農地中間管理事業

令和7年度の公社の借り受け件数は9,816件（前年比286%）で農地面積は4,555ha（前年比319%）となった。また、公社が貸し付けた件数は5,975件（前年比271%）で農地面積は4,667ha（前年比295%）となり、借り受け、貸し付けとも前年比大幅増となった。この要因は、令和7年4月から農地関連法が本格施行されたことや、大規模な法人の契約更新が多かったこと、国の協力金制度が改定されたこと等が考えられる。

（1）地域を担う中心経営体を核とした集積・集約化の促進

県や市町村により地域計画の充実に向けた見直しが進められる中で、機構駐在員が地域計画見直し協議の場に参加し、地域外の担い手にかかる情報提供を行った。

公社独自のモデル地区を県下11カ所に設置し、基盤整備事業との連携や機構集積協力金の活用により集積・集約を推進した。結果、245haの集積につながった。

（一社）熊本県農業法人協会と連携し、会員法人へ規模拡大での活用や公社経由の契約への切替えを推進した結果、会員40法人で農地中間管理機構を介した貸借契約が120ha行われた。

（2）新たな農地の受皿の確保と集積・集約の推進

新規就農者への農地の貸付は前年度より増加したが、研修用農地の貸付等については取組みの希望が無かった。

遊休農地については、10市町村において約9.8haが県補助事業により解消され、公社が16名の担い手に約9.4haを貸し付けた。

所有者不明となっている農地3カ所1.9haについて、県の裁定を受けて公社が権利を取得し、担い手に貸し付けた。

（3）基盤整備実施地区における推進

基盤整備実施地区における農地集積は、国営で1地区、県営で6地区の計7地区で508haと前年度の約9倍超の実績となった。増加した大きな原因は、機構集積協力金が令和7年度で廃止されることから、大規模な国営事業地区を含めて前倒しで申請が行われたためである。

（4）中山間地域等における農地集積・集約化の展開

中山間地域では3地区の38haで機構集積協力金を活用し農地集積を実施した。

また、公社が農地集積を行い、耕作放棄地解消事業や果樹経営支援対策事業等を活用して、樹園地の基盤整備が3地区5.12haで実施された。

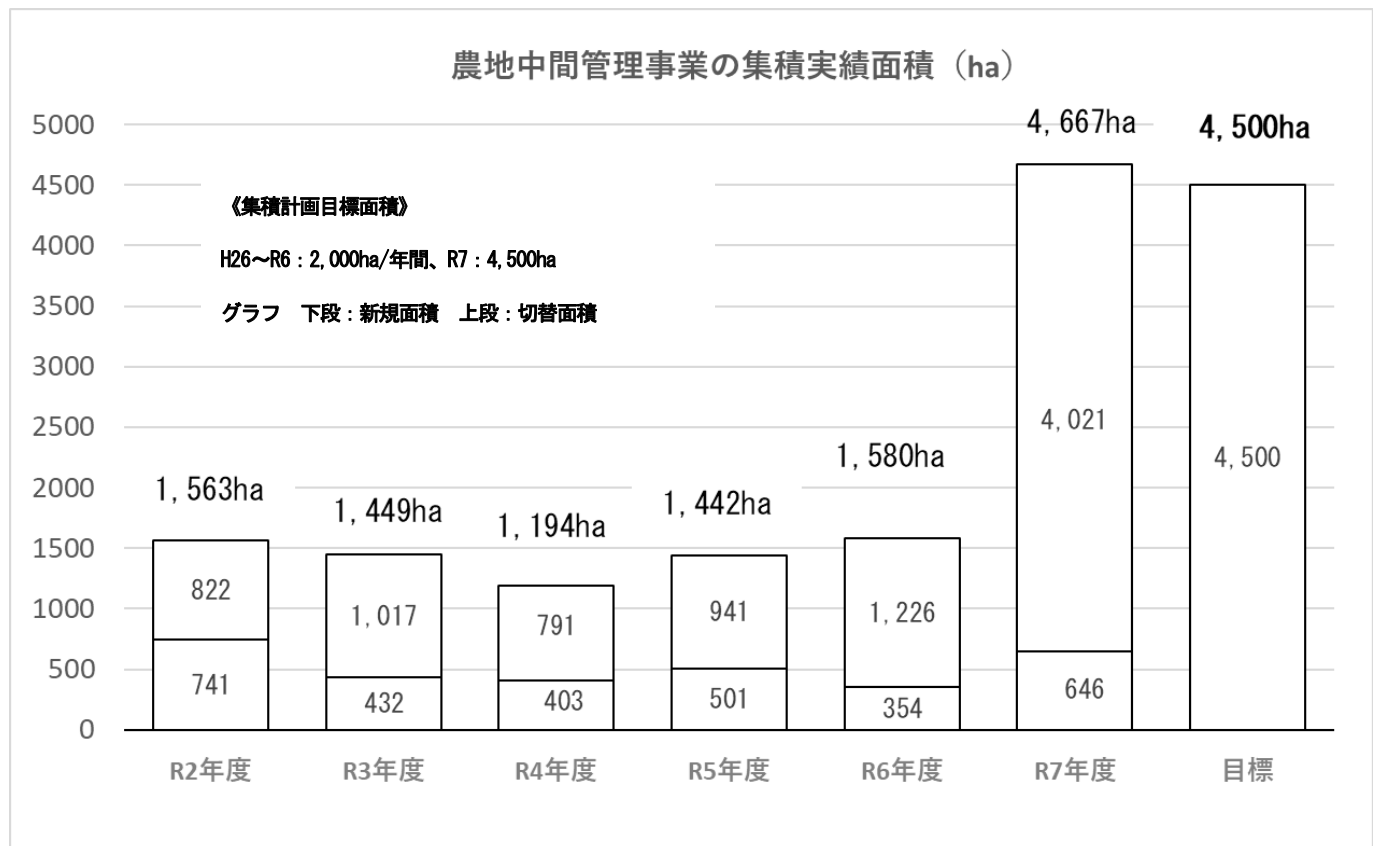
（5）農地関連法の改正への対応

法改正による手続き件数の増加を見込んで、農用地利用集積等促進計画の作成に係る事務負担の軽減を図るため、様式の見直し等事務の簡素化に取り組んだ。また、必要に応じ本社が市町村等へ出向き、業務推進にかかるサポートを行った。

また、多数の地域営農法人が期間満了を迎えたため、契約更新手続きが必要となったことから、機構駐在員が市町村と協力して計画的に準備を進め、円滑な契約更新が図られた。

(単位: 件, ha, %)

区 分		R7年度計画		R7年度実績		計画比
		件数	面積	件数	面積	
1 農地の貸借	借入	12,000	4,500	9,816	4,555	件数 82 面積 101
	転貸	6,000	4,500	5,975	4,667	件数 100 面積 104
※うち基盤整備との連携 (国営・県営)				7地区	508	



2 農地中間管理機構の特例事業（農地売買等事業）

農地の売買面積については、買入が184ha（計画比 74%）、売渡 163ha（計画比 63%）となり、計画を下回る実績となったものの、前年比では買入 121%、売渡 107%と伸びている。

地域別の買入面積では、順に菊池地域、八代地域、熊本市、球磨地域、阿蘇地域となっており、全体の約 8 割を占めた。

特に菊池地域では農地売買制度の変更により、これまでの相対による売買から公社を通した売買への切り替えが増加した。

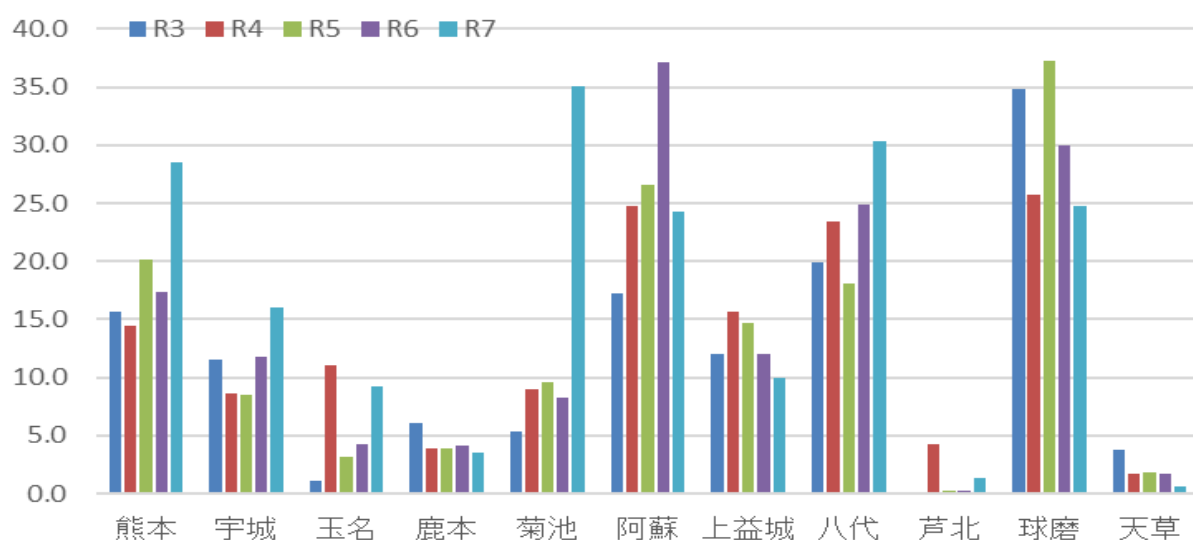
また、八代地域では施設園芸農家が貸借から売買への切り替え、法人による大規模化及び集積、集約化が図られている。

近年、ほ場整備を契機とした従前地売買は増加傾向にあるが、今後大規模ほ場整備の計画はあるものの、現状として受け手の減少が問題になってきている。

なお、県単独事業では、借入金利の上昇に伴う年間支払利息の公社負担が増加しており、課題となっている。

区 分	R 7 年度計画		R 7 年度実績		計画比 (%)
農地売買等事業	買入	700 件	買入	502 件	72
		250 ha		184 ha	74
		1,825 百万円		1,195 百万円	65
	売渡	603 件	売渡	378 件	63
		257 ha		163 ha	63
		1,983 百万円		1,059 百万円	53

地域別農地買入面積の推移



3 新規就農支援事業

本県農業の維持・発展を図るうえで重要な課題である、担い手となる青年等の確保・育成に係る支援事業などに取り組んだ。

(1) 新規就農支援助成事業

農業後継者育成基金の運用益の活用により、青年農業者や学校農業クラブ、NPO法人等 37 件の活動を支援し、新規就農者の確保・育成に取り組んだ。

(2) 就農支援資金管理回収業務

平成 26 年度までに貸し付けた研修資金と準備資金の回収等に関係機関と連携して取り組んだ。(令和 7 年度償還案件 6 件のうち 1 件は自己破産申し立てに伴う一時償還を決定、貸付残金を回収した。)

区 分	R 7 年度計画	R 7 年度実績
(1) 新規就農支援助成事業 ※基金運用益を活用	①熊本県青年農業者クラブ連絡協議会 活動支援事業 1 件	1 件
	②青年農業者海外派遣研修等支援事業 2 件	0 件
	③学校農業クラブ等地域課題解決活動 支援事業 10 件	11 件
	④就農支援機関協議会助成事業 1 件	1 件
	⑤就農準備研修機関等支援事業 3 件	3 件
	⑥地域新規就農支援組織活動等支援 事業 10 件	10 件
	⑦地方青年農業者クラブ課題解決活動 支援事業 11 件	11 件
(2) 就農支援資金管理 回収業務	①償還金回収事務 6 件	6 件
	②委託料支払い 2JA	2JA

4 熊本県農業公園管理運営等事業

熊本県農業公園指定管理（５期目）は４年目を経過した。農業公園の理念である県民への農業理解の促進と憩いの場の提供、農業情報の発信等に取り組んだ。

自主イベントとしては、「春・秋のバラまつり」、夏季の「水遊び広場」、年明けの「新春たこあげ大会」を実施した。

誘致イベントとしては、恒例のＪＡ植木まつり、農業フェア、合志市民まつり、熊本出身WANIMAが主催する１ＣＡＮＣＥ ＦＥＳＴＩＶＡＬ２０２５、サッカー大会やマラソン大会等を計画どおり実施することができた。

また、農業や食への理解を促進するためのカントリーパーク「食農塾」は、幼稚園・保育園等を対象に甘藷、落花生、じゃがいも、大根の収穫等の体験農園を実施し、１３０団体９，０６２人（計画比１１３％）の参加がありました。親子やグループを対象とした石窯ピザ作り体験及び食の名人等料理教室の食の体験については、１０月からの施設改修工事により実施できず、参加者数は１０団体（計画比１７％）３４５人（計画比１３％）となった。

こうした結果、令和７年度の総入園者数は４３万３千人（計画比８８％）、有料入園者数約１１万７千人（計画比１１９％）、無料入園者数３１万５千人（計画比８１％）の実績となった。

このほか、県民参加の公園づくりを進める観点から農業公園バラサポーター５０名の登録を行い、バラ園管理などに参加いただいた。

(1) 入園者実績

（単位：人数、％）

入園者	Ｒ７年度計画	Ｒ７年度実績	計 画 比
総入園者	490,000	433,171	88
有料入園者	99,000	117,614	119
無料入園者	391,000	315,557	81

(2) 体験農園実績

（単位：延人数、％）

作 物	体験内容	Ｒ７年度計画	Ｒ７年度実績	計画比
体験農園		8,000(120 団体)	9,062(130 団体)	113(108)
落花生	植付、生育観察、 収穫	—	247(7 団体)	—
甘 藷	植付、生育観察、 収穫	—	6,261(87 団体)	—
じゃがいも	収穫	—	1,047(14 団体)	—
大 根	収穫	—	1,507(22 団体)	—

(3) 食の体験実績

(単位：延人数、%)

項 目	R 7 年度計画	R 7 年度実績	計画比
食の体験	2,600 (60 団体)	345 (10 団体)	13 (17)
石窯ピザづくり等体験	—	345 (10 団体)	—
食の名人等料理教室	—	—	—

(4) 主なイベントの開催実績

① 自主イベント

イ ベ ン ト 名	開 催 日
春のバラまつり	5 月 5 日～18 日
フラワーアレンジ教室(バラサポーター)	6 月 8 日
水遊び広場	7 月 19 日～8 月 24 日
秋の野菜園芸講習会	8 月 10 日
秋のバラまつり	11 月 14 日～24 日
新春たこあげ大会	1 月 11 日
接ぎ木教室(バラサポーター)	1 月 25 日
春の野菜園芸講習会	3 月 30 日
体験農園(落花生、甘藷、じゃがいも等)	4 月 1 日～3 月 31 日
石窯ピザづくり等体験	4 月 1 日～3 月 31 日

② 共催イベント

イ ベ ン ト 名	開 催 日
春のうまかもんフェア	5 月 10・11・17・18 日
秋のうまかもんフェア	11 月 15・16・22・23 日
夏休み自由研究(こどもの秘密基地)	7 月 26・27 日

③ 誘致イベント

イ ベ ン ト 名	開 催 日
竹とんぼ講習会	毎月第 1 日曜日
KJ リーグティーステップサッカー大会	6 月 28・29 日、7 月 5・6 日 9 月 21・28 日、12 月 14 日 12 月 20・21 日 3 月 15・22 日
大恐竜パーク	4 月～5 月・1～3 月(土・日・祝 日)
くまもと肉万博・コスモマルシェ	4 月 5・6 日
コインランドリー展示会	4 月 9 日
グルメ&スイーツガーデン・サッカー選手権大会	4 月 12・13 日
九州蚤の市	4 月 19・20 日
九州たこ焼きグランプリ	4 月 26・27 日
くぬぎの丘マルシェ	5 月 3 日～5 日

第13回くまもと唐揚げ選手権	5月10・11日
台熊祭々in合志市	5月17・18日
アンビー合志保育園運動会	6月7日
第4回LOVE熊本!走RUNね!たまねぎリレーマラソン	6月8日
ひまわりマルシェ	6月13～15日
謎解きウォーキングアルクエスト	6月21・22日
寒蘭新芽展示会	7月6日
WANIMA pre. 1CANCE FESTIVAL2025	9月6・7日
ひまわりマルシェ	10月3～5日
Kumamoto カレー王座決定戦	10月11・12日
動物愛護祭り	10月12日
九州蚤の市	10月18・19日
第二幼稚園運動会	10月25日
くぬぎの丘マルシェ	10月25・26日
合志市民まつり	11月2日
2025くまもと農業フェア	11月8・9日
鉄板焼きフェス	11月15・16日
ひのくに骨董市	11月15・16・21・22日
おもと展示会	11月15・16日
ミートパーク	11月22・23日
寒蘭展示会	11月22・23日
キッズベースボール運動会	11月29日
スイーツマラソン大会	11月30日
ナナフレマーケット	12月7日
熊本県立ひのくに高等支援学校駅伝大会	12月12日
熊本学園大学付属中学校駅伝大会	12月19日
多肉植物・園芸雑貨展示会	12月21日
第19回合志市民健康カントリーマラソン大会	1月10日
第50回JA植木まつり	1月24日～2月23日
ひのくに骨董市	1月24～2月23日(土・日)
盆栽の展示会	2月6～9日
第22回無人ヘリコプター安全飛行技術競技熊本大会	3月3日
謎解きウォーキングアルクエスト	3月7日・8日
中古農業機械展示販売	3月11日
くまもと肉万博	3月28・29日

5 他団体からの委託事業

(1) 家畜人工授精用精液の取引仲介業務受託

家畜改良事業団が取り扱う家畜の精液について、家畜改良事業団と県下の農業団体との間で行われる売買の仲介業務を実施した。

(単位：本、千円、%)

項 目	R 7 年度計画	R 7 年度実績	計画比
取扱本数	1, 200	1, 761	147
受託料	200	352	176

6 管理部門

公社業務の円滑な運営のため、役員会 9 回（会議開催 4 回、決議省略 5 回）、評議員会 4 回（会議開催 1 回、決議省略 3 回）を開催するとともに庶務経理等の業務を執行した。

（１）理事会

決議の省略の方法による理事会 （令和 7 年 5 月 13 日）

第 1 号議案 決議の省略の方法による評議員会の開催について

第 2 号議案 評議員会の決議事項について

第 3 号議案 評議員候補者の推薦について

※上記議案について理事 10 名の全員同意で可決する旨の決議があったものとみなされた。

第 47 回 理事会 （令和 7 年 6 月 10 日）

第 1 号議案 令和 6 年度事業報告及び事業報告の附属明細書の承認について

第 2 号議案 令和 6 年度貸借対照表、正味財産増減計算書、貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書並びに財産目録の承認について

第 3 号議案 諸規程の一部改正について

第 4 号議案 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について

第 5 号議案 評議員候補者の推薦について

第 6 号議案 評議員選定委員の選任について

報告事項 農地中間管理事業評価委員会において出された意見について

※上記議案について原案のとおり承認された。

出席理事数 10 名、出席監事数 2 名

第 48 回 理事会 （令和 7 年 6 月 26 日）

第 1 号議案 専務理事の選定について

※上記議案について原案のとおり承認された。

出席理事数 7 名、出席監事数 3 名

決議の省略の方法による理事会 （令和 7 年 9 月 30 日）

第 1 号議案 決議の省略の方法による評議員会の開催について

第 2 号議案 評議員会の決議事項について

※上記議案について理事 9 名の全員同意で可決する旨の決議があったものとみなされた。

第 49 回 理事会 （令和 7 年 11 月 5 日）

第 1 号議案 諸規程の一部改正について

報告事項 令和 7 年度上半期における理事長及び専務理事の職務執行状況報告について

令和 7 年度事業の中間報告について

財務の状況について

※上記議案について原案のとおり承認された。

出席理事数 10 名、出席監事数 2 名

決議の省略の方法による理事会 （令和 7 年 12 月 25 日）

第 1 号議案 常勤役員の報酬について

※上記議案について理事 11 名の全員同意で可決する旨の決議があったものとみなされた。

決議の省略の方法による理事会 （令和 8 年 3 月 9 日）

第 1 号議案 決議の省略の方法による評議員会の開催について

第 2 号議案 評議員会の決議事項について

※上記議案について理事 11 名の全員同意で可決する旨の決議があったものとみなされた。

第 50 回 理事会 （令和 8 年 3 月 25 日）

第 1 号議案 令和 7 年度収支予算書の変更について

第 2 号議案 令和 8 年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みについて

第 3 号議案 諸規程の一部改正について

第 4 号議案 役員賠償責任保険契約の締結について

第 5 号議案 常勤役員報酬について

第 6 号議案 理事長及び専務理事の選定について

報告事項 令和 7 年度下半期における理事長及び専務理事の職務執行状況報告について

令和 7 年度事業の実績見込みについて

※上記議案について原案のとおり承認された。

出席理事数 11 名、出席監事数 2 名

決議の省略の方法による理事会 （令和 8 年 3 月 31 日）

第 1 号議案 事務局長等の重要な職員の任免について

※上記議案について理事 12 名の全員同意で可決する旨の決議があったものとみなされた。

(2) 評議員会

決議の省略の方法による評議員会 (令和7年5月26日)

第1号議案 役員の選任について

※上記議案について評議員5名の全員同意で可決する旨
の決議があったものとみなされた。

第12回 評議員会 (令和7年6月26日)

第1号議案 評議員会長の選定について

第2号議案 令和6年度貸借対照表及び正味財産増減計算書並びに
財産目録の承認について

第3号議案 役員の選任について

報告事項 令和6年度事業報告について

※上記議案について原案のとおり承認された。

出席評議員数4名

決議の省略の方法による評議員会 (令和7年10月14日)

第1号議案 役員の選任について

※上記議案について評議員7名の全員同意で可決する旨
の決議があったものとみなされた。

決議の省略の方法による評議員会 (令和8年3月16日)

第1号議案 役員の選任について

※上記議案について評議員6名の全員同意で可決する旨
の決議があったものとみなされた。

(3) 監査 (令和7年5月30日)

令和6年度財務状況並びに業務執行状況について、公社監事(橋本明
博・亀割安博・久保田修)による監査が実施された。